

佐野市生涯学習フォーラム平成30年3月3日(土)

ここねっとからも発表に4団体が参加されました!

多様なコミュニケーション方法による交流 ノーマライゼーション

実行委員・コーディネーター：廣瀬恵子さん 中村正江さん

佐野市中途失聴・難聴者協会 亀山 眞一さん

平成7年から活動を開始された「さの難聴協」。要約筆記の方々
と車の両輪のように寄り添って活動をされてきた。「耳マーク」
は同じ福祉でも「白い杖」や「車いす」マークのような認知度
を得られていないとおっしゃる。聞こえの相談会や難聴者の為
の手話勉強会なども開催している。健聴者と話す時も口の動き
を見ながら会話の内容を理解されることも多く、マスクを着用
していると、なかなか会話を読み取るのも難しいようだ。



佐野点訳サークルこぼと会 船田 玲子さん他みなさん

「一歩踏み出してみたら」と題されての発表。普段から関わって
いらっしゃる視覚障がい者の方との関係、協働企画で毎年開催
している点字体験を通しての図書館との関係、点字指導に訪れ
る小学校との関係など、様々な場面で今までより一歩踏み込ん
で活動してみた結果、得られた体験や効果を発表してくださっ
た。また、中途失明者の点字習得の難しさに触れ、サポーターの
立場で習得者が「飽きない」「諦めない」ための工夫もされてい
る。小さな一歩が確実な前進を産んでいる。



こだわりっこの会 柳川 悦子さん

小児科医でいらっしゃる柳川先生を囲むこだわりっこの会の会
員は70名余り。月1回の勉強会は会員以外の方も参加され、会
場はいつも満員である。ご自身の体験談も交えての勉強会は遠
くからいらっしゃる方も珍しくない。今や発達障がい児者は人
口の1割は存在すると言われ、その特性を生かした職業選択や
ちょっとした関わり方を学ぶことで生活のしやすさや人間関係
の改善を図れるなど、ポイントを教えていただいた。保護者や支
援者が本人の困難を学び、本人の社会性を伸ばしながら、より良
い経験を積むことも大切と話された。



この他にも、なかよしクラブ 峯 清さんが「さあ、見つけよう
自分に合った健康づくり」の分科会で発表をされました。

